

クラウドの「つながる」特性を活用した業務の生産性向上

中部事務機株式会社
岐阜県岐阜市都通一丁目15番地
<https://www.cbm.co.jp/>

課題

- ・子育て世代の増加による、労働時間の短縮
- ・採用難による慢性的な人手不足
- ・人手不足による長時間労働の改善
- ・導入システム間でデータの連携がなく非効率
- ・勤怠状況などの把握にデータ加工の手間が必要

実施内容

人事労務のあらゆる業務をクラウドでつなぐ「奉行クラウドシリーズ」を導入

事業の効果、今後の展開

<効果>

- ・勤怠管理に関する業務 年144時間が36時間の1/4に削減
- ・給与計算に関する業務 年97時間を0時間に削減(アウトソーシング化も含む)
- ・クラウド化により人事労務業務のテレワーク環境が整った

<今後の展開>

- ・業務負荷を把握し、事前の対策や人材配置の最適化などワークライフバランスの実現に向けた労務管理に利用
- ・紙文書の電子化など全社的なペーパーレス化

クラウドの「つながる」機能を活用することで、人事労務管理業務を人事情報という1つのマスタで共有でき、また、柔軟な働き方を推進する考えから、場所にとられない働き方ができるように奉行クラウドシリーズを採用し、働き方改革を推進する基盤を構築しました。これにより重複したデータ入力がなくなり、人事労務管理における業務の効率化・自動化を大きく推進することができました。また、社員においても、各自のパソコンやスマートフォンを使用した申請や勤務状況の確認でき、どこでも働ける環境が整いました。



人事労務管理業務にかかわるマスタ・データを統合

